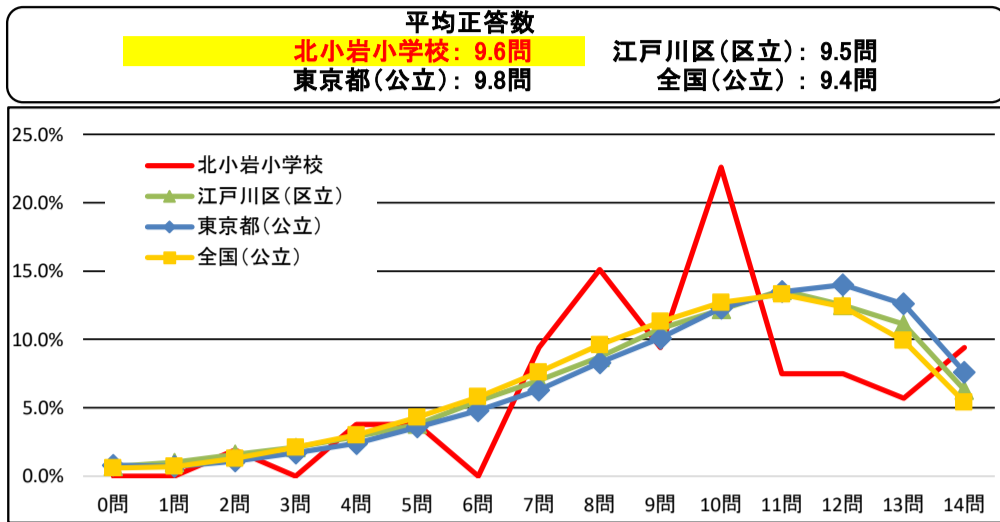


# 令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】江戸川区立北小岩小学校

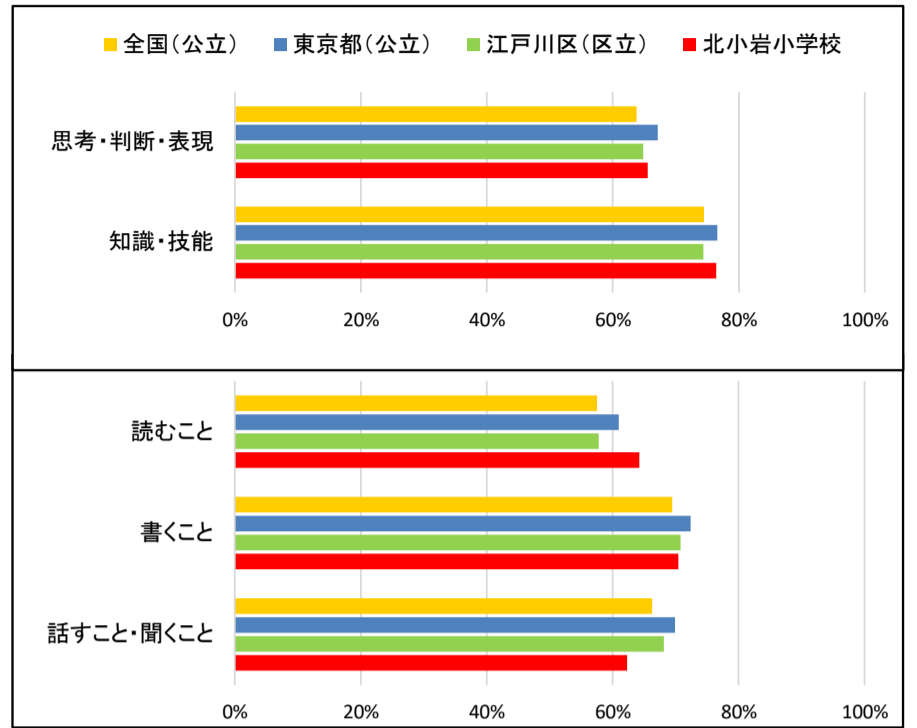
## 正答数分布



【平均正答率の差】

北小岩小学校	69%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	-1.0

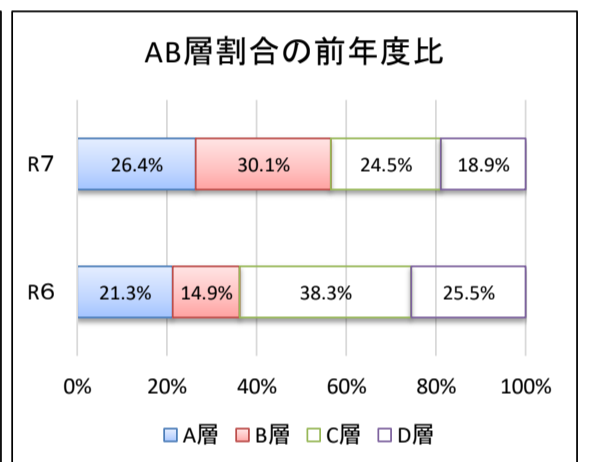
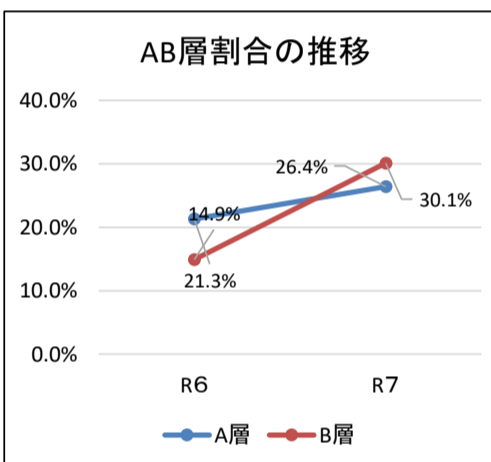
## 「領域別」の結果



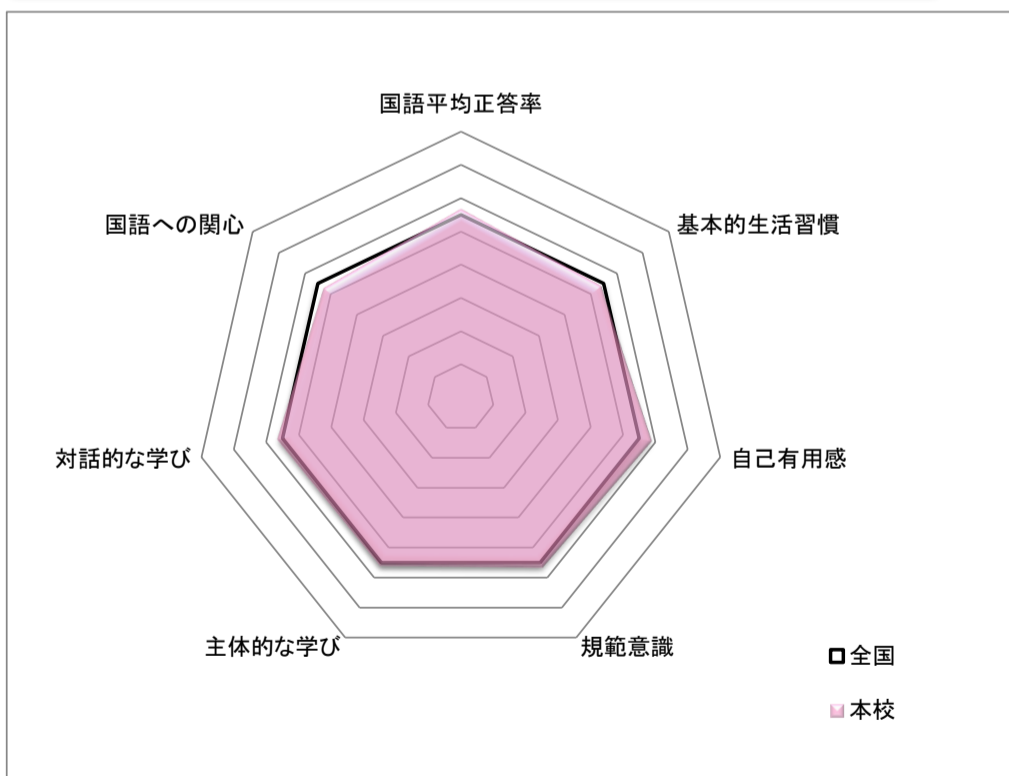
## 四分位における割合（都全体の四分位による）

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
北小岩小学校	26.4%	30.1%	24.5%	18.9%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



## 各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



### 《チャートの特徴》

- ・国語への関心について、数値上全国平均を下回っている。
- ・基本的な生活週間は全国とほぼ同じか、若干下回っている。
- ・その他の項目に関しては、全校平均を上回っている。

### 《家庭・地域への働きかけ》

- ・家庭での読書+感想メモの習慣化の提案。
- ・自主学習の提案(意味調べ・語彙集め・読書記録、記述練習の方法)
- ・個人面談での個票の配付。

### 《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・国語への関心について、数値上全国平均を下回っているが、授業中に関しては主体的・対話的に学習に取り組む姿が見られる。授業態度や学習規律に関しても概ね整っており、学びに向かう力も身に付いている。
- ・昨年度と比較してA層・B層が増加しており、学力向上が見られる。
- ・「よむYOMUワークシート」を継続し、読解力を育成している。

### ・教員の指導力向上

- ・校内研究を根幹に、児童への理解力や学級経営力を高め、集中して学習に取り組める集団を形成する。
- ・OJTを充実させて、若手教員に学習指導法について伝える場をつくる。
- ・区や都などの様々な研究・研修に積極的に参加し、学んだことを校内に還元する機会をつくる。
- ・基礎学力の保障
- ・読書活動の励行により、読解力や語彙を増やす。

- ・「聞く」ことに関して指導を徹底するとともに、児童が話す場面を意図的に多く設定して「話す・聞く」力を身に付ける。
- ・学習習慣の確立
- ・基本問題の反復練習やミニテストを行う。

- ・家庭学習と単元の学習内容を関連させる。
- ・単元のテストの日を提示することで、見通しをもち学習に取り組めるようにする。
- ・AB層の育成

- ・思考力・判断力・表現力の育成。
- ①「なぜそう思ったのか？」を問うペア対話活動。
- ②考えを伝える際に「叙述をもとに説明する」ことの指導を徹底する。
- ③ねらいに迫る解答や考えを共有し、学び合いの機会を設ける。